



わくわく だより

早いもので、気が付くと今年もあと2ヶ月ちょっとで終りです。我が家では、もう石油ストーブが活躍してらんです。ところで皆さんは、落葉を集めて焚き火をしたことありますか？ 私は、40年近く生きて来て、焚き火というものをしたことがないんです。隣の人は、あれは、おかしいよって言われましたが、どうほんでしょうネ。機会があれば、焚き火で焼き芋、やってみたい!!



ひとこと

用語集

- 切妻屋根・・・本を開いて伏せたような形をしている屋根。棟から両方向だけに傾斜する平面でできている。わが国で代表的な屋根形式の一つ。2方向に雨水を流すシンプルな形であり、建築費も安く済むことが多い。
- 囲繞地通行権・・・囲繞地とは公道に面していない袋地を囲む周囲の土地のことをいう。囲繞地通行権とは、袋地の土地所有者が公道に出るために隣接する囲繞地を通行できる権利をいう。但し、囲繞地所有者にとって最も損害の少ない方法・場所を選ばなければならない。
- アトリウム・・・元々は、古代ローマ都市の住宅に見られる天窓付き中庭のこと。最近では、ホテルやオフィスのロビー、マンションのエントランスなどにある、開放的な吹き抜け空間のことを指す。
- モジュール・・・基本寸法、基準単位のことを指す。日本建築における「尺」や「間」もモジュールの一つである。わが国では、木造住宅を建てる時に用いられるモジュールは「尺モジュール(約 91 cm)」であった。しかし、現在は1 mを基本寸法とする「メートルモジュール」が採用されつつある。モジュールの語源は、ラテン語のモドゥルス (modulus)。

なぜ中古住宅

①中古住宅で15～18年もたつと、ほとんど土地の価格と同じになっています。土地を買っても、テント生活ができるわけではありませんが、中古住宅であれば当然のことながら、電気、ガス、水道、台所、浴室がついています。

簡単なリフォームと美装（清掃）を施すだけで、快適な生活ができる物件がたくさんあります。

おまけに新しく建て替えるにも、もともと土地の価格に近い手頃な金額ですから、解体するにも抵抗がありません。

②比較的新しい物件でも、外柵工事、カーポート工事などは売買価格の計算に入っていないことも多く、建物の年数に応じた価格に、土地の相場を加えた売買価格になっている場合も多く、大幅に割安になる物件が多数あります。



★過去15回にわたり、『今、なぜ中古住宅・マンションか?』について、掲載させていただきましたが、いかがでしたでしょうか？少しでも、皆様のご参考になれば幸いです。